



知床科学委員会 しんぶん

河川工作物 アドバイザー会議 No.20



「河川工作物アドバイザー会議」では、災害から生活を守りながらサケ類が遡上できるように、各専門家が行政機関に対して、ダムの改良工事やモニタリング等について科学的視点から助言をしています。しんぶんでは、その活動についての情報をお知らせしています。

今回の会議

令和3年1月19日に、札幌市中央区の札幌パークホテルにおいて令和2年度第2回河川工作物アドバイザー会議を開催しました。



▲室内会議の様子

二 会議の内容について

No. 1 長期モニタリングについて

知床の夏季の気温が上昇傾向にありながらも、冷水を好むオシロコマの生息密度にはまだ大きな変化が起きていないことが北海道森林管理局より報告されました。また、会議の中では、近年、知床ではヤマメの増加傾向がみられる河川があり、この変化が知床の生態系に与える影響についても様々な議論がなされました。

No. 2 ルシヤ川のダム改良について

ルシヤ川の第3ダムの改良が令和2年に終了したこと、また令和3年度の第2ダム切下げの工事計画について北海道より説明がありました。

No. 3 ルシヤ川の河床路について

令和2年10月12～13日の増水によりルシヤ川河床路の石組みの一部が流出したこと、直後にその復旧工事を行ったことが北海道森林管理局より報告されました。

令和2年10月13日早朝の増水状況



No. 4 イワウベツ川のダム改良について

イワウベツ川中流に位置するNo.3、No.7ダムについて、①サケ科魚類の遡上環境をできるだけ自然の状態に復元すること、②過去に実施した知床のダム改良での反省点や良い点を参考に設計すること、③防災機能を損なわないように配慮することの3つの改良コンセプトが述べられ、改良案として、ダムの一部切り下げと石組斜路を組み合わせた工法について北海道森林管理局より説明が行われました。

今回は改良のコンセプトと改良案の確認をしたよ。具体的な改良方法についてはこれから検討を重ねていくよー



TOPIC!

オッカバケ川第2号ダムの改良工事が令和2年10月に完了しました！

上流に堆積している土砂をゆっくりと時間をかけて流下させる、地形改変を極力少なくするというコンセプトのもと、現地では大型建設機械を使用せず、人力作業で鋼材を徐々に取り外すことで、足掛け4年をかけてダムをスリット化しました。ダム切下げの変遷は写真のとおりです。

切下げ前

平成28年
8月



平成30年
10月



平成31年
4月



令和元年
8月



令和2年
6月



令和2年
8月



切下げ完了！

令和2年
11月



この改良工事には海
外の専門家も注目し
ているよ！
NHKのネット配信
動画もぜひ見てみて
ね！



会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■ 問合せ先 ■

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター
〒099-4355
斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
TEL：0152-24-3466
FAX：0152-24-3477

■ 発行：林野庁北海道森林管理局
■ 制作：株式会社 森林環境リアライズ
発行日：2021年2月28日



CHECK!

オッカバケ川第2号ダムの改良工事については、下記のNHKのネット配信でも見るすることができます。

<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-n1ff6d58288ff>